

## 平成30年度第1回市川市都市農業振興対策協議会

日時：平成31年3月25日（月）14時～

場所：JAいちかわ本店 4階中会議室

○中川課長

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議につきまして、ご説明いたします。

本日の会議は、議題にもとづきまして皆様のご紹介、役員を選出の後、議題は平成30年度事業の報告、31年度事業案、本協議会設置要綱一部改正、人・農地プランそして、その他となっております。

会議終了時刻は、概ね3時までに1時間を予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。本日は13名の委員の方々の出席をいただいております。

本協議会設置要綱第4条第2項に定める定員数につきまして、人数が達しておりますので、本会議は成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、早速ではございますが、次第に従いまして委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

- ・市川市農業協同組合 代表理事組合長 時田様 よろしく申し上げます。
- ・千葉県東葛飾農業事務所 改良普及課課長 野村様 よろしく申し上げます。
- ・市川市農業協同組合 経済部部长 渡邊様 渡邊です。よろしく申し上げます。
- ・市川市農業委員会会長 三橋様 三橋です。よろしく申し上げます。
- ・JAいちかわ果樹部会 部部长 小川様 小川です。よろしく申し上げます。
- ・市川市農業士等協会会長 鈴木様 鈴木です。よろしく申し上げます。
- ・JAいちかわ野菜部会 部部长 吉田様 吉田です。よろしく申し上げます。
- ・市川市農業青少年クラブ会長 小川様 小川です。よろしく申し上げます。
- ・JAいちかわ花き部会 部部长 河之邊様 よろしく申し上げます。
- ・JAいちかわ市川地区女性部部长 松丸様 松丸です。よろしく申し上げます。
- ・JAいちかわ直売組合 組合長 栗原様 栗原です。よろしく申し上げます。
- ・市川市農業委員会事務局局長 谷地様 谷地でございます。よろしく申し上げます。
- ・市川市農業協同組合市川地区青年部 副部长 松本様

今日松本様におきましては、欠席という、連絡をいただいております。

- ・市川市経済部部长 川島でございます。川島でございます。よろしく申し上げます。

○中川課長

委員の皆様、ありがとうございます。

それでは、次に役員を選出について、ご説明をいたします。本協議会設置要綱、第5条では、本協議会の会長並びに副会長は、互選で選出するという事になってございます。役員は互選につきまして、なにかご提案がございましてでしょうか。よろしいでしょうか？事務局一任ということで、進めさせてよろしいでしょうか？そうしましたら、事務局の案といたしまして、会長職には市川市農業協同組合経済部部長渡邊様を、また、副会長職には、市川市農業士等協会会長の鈴木様にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか？よろしいでしょうか？はい、それではご承認ということで、決定させていただきます。では、申し訳ございません、会長の渡邊様、所定の席へお願いいたします。

それでは会長になりました渡邊様より、一言ご挨拶をお願いいたします。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

ただいま、ご紹介いただきました農協経済部の渡邊でございます。

会長職という事で、不慣れではございますが皆様のご協力のもと会議を経て市内農産物のPRに繋がればと思っておりますので、ひとつご協力をお願いします。

○中川課長

渡邊さんありがとうございました。

それでは以後議事進行につきましては、本協議会設置要綱第7条第1項によりまして、渡邊会長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

はい、それでは着座にて進めて参りたいと思っております。

進行について不慣れではございますが、皆様にご協力をお願いいたします。

今回はですね、市川市審議会等の会議公開に関する指針により、公開が原則となっておりますが、本日の議題1・2及び3については、特に非公開とする個人情報等はありませんので公開とし、議題4につきましては、個人情報等が含まれているので、非公開とさせていただきますよろしいでしょうか。

それでは早速、議題1・2及び3について公開とさせていただきます、4につきましては非公開とさせていただきます、行いたいと思っております。

傍聴人、いらっしゃいますか？はい、いらっしゃいません。

それでは、議題に入っていきます。

議題1 平成30年度事業に関する報告について、また2の平成31年度事業案について、事務局から説明をお願いいたします。

○石橋主幹

はい。それでは事務局の農政課より説明させていただきます。すみませんが、着座にて説明させていただきます。

議題の（１）平成３０年度事業に関する報告と、議題の（２）平成３１年度事業案につきましては関連しておりますので一括して説明させていただきます。

はじめに平成３０年度事業に関する報告といたしまして、資料の１をご覧ください。

平成３０年度は、市川市都市農業振興支援事業として、市内産農産物のPR事業や農業者への各種補助事業など、計１１事業を実施いたしました。

決算高はまだ確認しておりませんので、主な実績について、ご報告させていただきます。資料１の表の右側、実施内容の欄をご覧ください。

① 市川市農産物等PRイベント負担金として、市川市農産物等普及協議会に70万円を負担しました。この活動実績については、後ほどご説明いたします。

次に③園芸用廃プラスチック処理事業補助金として農業用ビニール等を運搬、適正に処理する費用に対して、補助いたしました。

30年度につきましては、台風24号の影響で回収量が、前年の1.5倍の12.3tとなっております。詳しくは、後ほど資料の③をご参照ください。

次に、④の減農薬栽培推進事業といたしまして、梨農家74軒が導入した性フェロモン剤に対して補助を行いました。設置面積は55.3ヘクタールでございます。

次に⑦の農業用干害用水設備設置事業につきまして、今年度は3件150万円の計上でしたところでございますが、今年度希望者は、いらっしゃいませんでした。

⑩の施設園芸支援事業といたしまして、新規にハウスを新設する農家2軒と、省エネ型のボイラーの設置と、環境保全型の設備、あるいは施設を改修する農家10軒に対して補助を実施いたしました。

それでは、続きまして資料の2の方をご覧ください。

こちらは今年度市川市農産物等普及活動実績を掲載してございます。

この協議会は市内産農産物の魅力を広く発信いたしまして、都市農業への理解を深めていただくと共に、市川産農産物のブランド認知度の向上や、消費の拡大を目的といたしまして、JAの各生産部会と市の経済部の構成員として活動しております、具体的には、こちらの資料2の方に事業内容をお知らせしてございます。

順にご案内いたしますと、（１）といたしまして、市内小学校対象とした梨の共同選果場の見学会、こちらは各選果場に8校ずつ計16校の小学校を対象に実施いたしました。次に（２）の市川とまとフェアでございます。こちらは4月の28日にJR市川駅の改札前広場で実施いたしました。市川とまと6,000個以上を特別販売いたしまして、大変な好評を博したところでございます。

次に2ページ目にいきまして、（４）市川の梨フェアでございます。こちらは9月1日、9月8日に東西線の行徳駅、JRの市川駅で順次実施いたしました。

こちらでは、特別販売でお買い求めになった数を、来場者数として960人とご案内してございますが、実際にフェアを見ていただいた方はこれよりはるかに多く、情報客数から試算いたしますと、市川駅だけでもPR効果は約1万4,000人程度と、推定しているところでございます。次に(5)の市川産花の展示会でございます。こちらは11月30日から12月6日までの1週間市内4箇所に表示し、直売マップの配布も合わせておこなわせていただきました。こちらも例年好評いただいている事業でございます。

次に(6)の農水産祭りでございます。こちらは今年度JAいちかわ直売組合の活動を更に広く周知するために、開催場所これまでの行徳の弁天公園から、JAいちかわ行徳支店駐車場に変えて12月15日に実施いたしました。場所は弁天公園よりやや狭く、コンパクトにはなりましたが、来場されたお客様、それから出展者の方からは今まで好意的な意見をいただいております。以上、簡単ではございますが、議題の(1)の平成30年度事業に関する報告の説明でございます。

続きまして、資料の4をご覧ください。

議題の(2)平成31年度事業案について、説明させていただきます。

来年度は、こちらにお示ししてある①～⑬までの計13事業に5,070万2千円を計上いたしました。予算額は、対前年度比で約1.6倍となっております。昨年度から大きな変更があるものについて説明させていただきます。⑤の市民農園開設等支援事業補助金でございます。こちらは農地所有者が自ら市民農園を開設した場合にその整備費用の一部を助成することとしたものにございまして、30万円を計上してございます。因みに1,000m<sup>2</sup>辺り15万円の補助と考えております。それから⑨の千葉の施設園芸産地整備支援事業補助金といたしまして、31年度は対前年度比1,000万円増の1,300万円を計上してございます。

来年度は、スピードスプレイヤ4台への補助を予定しているところでございます。それから、⑩の施設園芸支援事業といたしまして、来年度は園芸用ハウスの新設2件と環境保全型の設備を導入し、2軒に対しての補助をお受けしております。対前年度比の700万円増の3,000万円を計上いたしております。それから⑫農業次世代人材投資事業といたしまして、新たに営業を開始する新規就農者のうち、国や県等の定める要綱を満たすものに対しまして、就農直後の経営支援するために150万円を新規計上してございます。

次に⑬の鳥獣被害防止対策事業補助金でございますが、こちらは狩猟免許を取得する農家に対しまして補助を実施してまいりましたが、これまでの事業により一定数の免許取得者を確保できた事に加えまして、平成29年度から農家が自らの圃場内の有害鳥獣を捕獲する場合に、免許の必要がなくなりましたことから、来年度から補助事業を休止するものとしたものでございます。

次に、資料の5の方をお願いします。

平成31年度、農産物等PR事業について説明させていただきます。

31年度は今年度ほぼ同様の事業計画となっております。

2の事業計画の(1)市川とまとフェアを4月27日土曜日、市川駅南口の駅前広場にて、開催したいと考えております。また(3)の市川の梨フェアにつきましては、来年度につきましては道の駅での開催を計画しているところでございまして、現在道の駅、それから関係団体との調整中でございます。つづきまして、(4)の市川産の花の展示会(5)の農水産祭りその他についてもこちらの資料にお示し通りの計画でございます。こちらの計画の具体的に日程や内容につきましては、委員の皆様、関係団体等と調整しながら具体的なものについては、調整してまいりたいと考えてございます。以上の議題を(2)平成31年度事業案についての説明でございます。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

ありがとうございました。

(2)の事案に付きまして何か意見がある方、挙手をお願いします。

○JAいちかわ果樹部会 小川部会長

梨フェアの実施日は訂正したほうがいいのかなと思います。

○石橋主幹

資料2の(3)の市川の梨フェアのところでございますが、実施日に付きまして(1)実施日、実施場所①の平成31年度7月中旬になってございます道の駅での開催ですが、こちらについては、8月上旬を、ひとつの案として関係団体の方々と調整すると考えてございます。そのように、訂正させていただきます。

○JAいちかわ野菜部会 吉田部会長

とまとフェアは日にちが入っているが、すでに場所押さえたのか。

また、いつ頃から決まっていたのか。

○石橋主幹

はい、すみません。広報等の関係から早めに場所等準備をする都合がございます。広報の締め切りがひと半月前からとなっております、場所の方の予約を押さえるとなりますと3ヶ月前から調整が必要となっております。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

特に意見がないようなので1・2につきましては以上とさせていただきます。

次の議事に進めさせていただきます。

○石橋主幹

議題3 市川市都市農業振興協議会設置要綱の一部改正について、説明させていただきます。続きまして、資料6のほうをご覧ください。

こちらの市川市都市農業振興対策協議会設置要綱一部改正についてでございます。こちらの第9条ですが、実は現在事務局農政課が務めておりますが、農政課の名称が来年度4月1日から農業振興課に変更になりますので、それに合わせてこちらの要綱の方も、第9条協議会の事務は経済部農業振興課において処理すると課の名称を変更すること提案するものいたします。以上です

○市川市農業協同組合 渡邊部長

これは、よろしいですね？そしたら、次にいきたいと思います。  
次は議題4、人・農地プランについて説明をお願いします。

—非公開—

○市川市農業協同組合 渡邊部長

説明が終わりました。人・農地プランについてご意見ある方、挙手にてお願いします。特に何もなくてよろしいですか。特にないようですね。

一応本日、その他何かありますか。ないですね。

以上で全ての議題が終了したわけですが、冒頭少しお話させてもらった様に市内の農産物のPRなど皆様方から例えば今後、こういう取り組みはどうだとか、様々な意見があると思います。すぐにちょっとできるものと、予算的にできないものがあると踏まえて、いろいろあると思いますが何かございましたら、ご意見ちょうだいしたいと思います。どうでしょうか。

○JAいちかわ野菜部会 吉田部会長

さっきの、とまとフェアの時もそうだと思うんですけど、いちとまちゃんのを商標取ったんだから、経済センターのもっと前に出してほしいです。どうせ、この時期なんで外から目に止まる場所に、おいてあげてほしいなと希望があります。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

JAの意見として受け止めます。経済センターの前に出すようにいたします。

○JAいちかわ果樹部会 小川部会長

はい、これから本格的に農薬散布が始まると思いますが、農薬が飛んでいる辺りでは、時間帯とかける量によって苦情が出てくる事があります。農薬散布についてよく

市役所の方とか農協の方へ問い合わせが来るとよく聞きますけれども、もうちょっと農家へ理解してもらおうように PR できないですかね。

例えば、この時期農家は散布していますので、協力お願いしますというみたいな感じで、なんとかしてもらえないかな。この4月からどんどん本格的に薬剤散布が始まるからね。皆、農薬散布についての苦情が一番困っていると思いますよ。色んな面で。早くかけても、うるさいと言われますし。

かける時間は難しいと思いますので、それをちょっと一般の人に理解してもらおうのは、なんか方法はないかなと思うので。その辺を事務局の方からお願いします。

#### ○中川課長

あの、農薬散布につきましては、小川部会長さんのおっしゃるとおり、JA にすぐ色々なお電話をいただいたりすることがございます。ただ私たちも農薬散布につきましては、安全な範囲で使っているという事、それから、その使用の履歴も残っている事、そういった面で常に人体にかかっては安全とは言えませんですけど、あの使用できる、許可されている範囲内で行っているものと、市民の方に対してご説明しております。

やはり、部会にもお願いしているとおりに散布する時には、できれば黄色い旗を立てていただいて、農薬散布をしているという事を、事前にお知らせいただくという事で、ご理解いただいているところです。

次に農薬散布にいたしまして、完全に安全性が高いものであるという、市民の方に対して十分にご説明して、これからもご説明していくつもりでございます。

ただし、その農薬散布自体がですね、いつ何時に、どこで始まるという状態がそんななかなか部会さんその個人の方で違いますので、それをきちんとホームページとかで伝えていくという非常に難しいところではあるんですけど、やはり JA さんと、部会の皆様とご相談ご協力しながら、市の掲示板・町内の掲示板とかですね、ああいったところにこういった時期は農薬散布の時期ですよみたいなとか、何かそういったお知らせができれば部会さん、JA さん、市と協力しながら、そういったもので安全性であると、安全なものであるという啓発を努めていきたいと思っています。

#### ○JAいちかわ果樹部会 小川部会長

掲示板という形はいいと思うんだけど、梨の産地とかいろいろ書いてあるんだけど、そこにちょっと農薬散布をこういうものだから、少しそういう面に関しては、掲示板には書いてないと思うんだけどね。

そうですね。その辺も一緒に書いた方がいいんじゃないのかなとか、思うんですけど、やっぱり PR とかホームページ見るよりも、立て看板か何かあれば、やっぱり効果が違うと思うんですよね。それも、ちょっとお金がかかるので、市の方と、農協のほうで

お願いしたいなと思うんです。

○中川課長

私どもの振興地域の看板もかなり古くなっているの、字が見えなくなっている部分もありますので、この看板設置ということであれば、そういったところの文言も踏まえて変更させていただきたいと思っています。

先ほどの、いちとまちゃんのストラップをJAさんの中條さんがデザインしていただいて、作ってそれをJAさんの方で登録して頂いた経緯がございます。

今回のとまとフェアの時に、グッズは少し余っていますので、配布をして十分にお知らせしていきたいなと思います。あとは、ホームページとかでも載せて、JAさんの許可を得て、グッズの発注をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

さっき農薬の関係で、住宅が増えてきているので前にもお話ししてもらったんだけど、当然畑の脇とかに家がある、分譲で立つ時には市役所の建築課の許可を得て、多分その業者さんにはお話されると思うんですよね。隣が畑なので、薬散があるという事をちゃんと説明してくださいと農家さんから意向は出すんだけど、そこでは業者には伝わるんだけど、入る方にそういった説明がないとかで、たまにそういうトラブルがあると言うんで農家の方も、新しく越してきた方に色々そういった、話もしているようなんですけれど、ちょっとその先、もっと先の方まで市の方で説明が、情報として行き渡るような手立てをしていただければありがたいと思います。

○中川課長

そうですね、農業振興地域に家が建つ場合には重要事項説明として、ちゃんとしていただくなどそういった関係を調整させて進めさせていただきます。

また、市といたしましても、そういう住宅近隣施設につきましては、農薬防止カーテンの設置の補助を進めていきたいと考えております。補助を使いながらも農業の振興に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

他に何かございませんか。

○JAいちかわ直売組合 栗原組合長

あの、PRについてなんですけど、市川では皆さん梨って言うと、すぐ、あ～市川の梨ってことで、ピンとくると思います。しかし野菜に関してはですね、なんか目玉っていうか、西船の小松菜じゃないんですけど、そういうのでやっていけるPR活動



なんかないですかね？私ども、施設でトマトとイチゴ、イチゴって言うのは多分無理だと思うんですけど、トマトも一つのPRの活動だとは思いますが、キュウリでもなんでもいいんですけどね、なにか野菜でないですかね？力を入れて欲しいと思っています。

○中川課長

市といたしまして、今トマトに力をいれてPRするにあたってですね、去年いちとまちゃんという、イメージキャラクターを作成いたしました。

キュウリとか、ベリーなんかございますので、そういった物の方も、少しずつ力を入れて、市川の梨と言え、非常にこう有名で、梨に比べて野菜というのが、ちょっと力が弱いという、皆さんお感じいらっしゃるとございますので、そういった中で市の方といたしましても予算でPRしていこうと今後力を入れていこうと考えております。イチゴも、戦前は市川イチゴという凄く有名だったらしいということで、何十軒も農家があって東京の市場では、凄く有名であつとことを聞いております。今は2軒しかありませんが、その2軒の方も規模拡大をしながら、道の駅等で販売していきたいとお話もございますので、そういったところも補助をうまく行いながら、PRしていければと考えております。

○JAいちかわ直売組合 栗原組合長

それと、関連して直売組合としては、道の駅でPRさせていただき、商品を出せていただいているんですけども、なんか、梨のない季節がやっぱし、なんてかね、市川にせつかく他府県からいらっしゃって、あら市川には同じような野菜しか無いのねって言われるのも困るんだけどね。まあPRとしてなんか、1年中通してなんかないですかねトマトも良いですけど、1年中あればいいんですけどね。1年中通して、加工品でもいいんですけども。

○中川課長

直売さんと野菜部会さんの皆さんとも、ご相談させていただきながら、道の駅事業者の募集なんかもしておりますので、今後その辺の動向は見ていきたいと思っています。

あとあの、市川産ではないかもしれないけれど、JAいちかわという事で大きく見ていただければ船橋のエンジンとかも、JAいちかわが取り扱っている関係もありますので、それだけ広い意味でとらえていただくのも、ひとつ必要なのかなと考えておまして、そういうものを取り入れながら、先ほど川島部長からも説明がございましたけれども、道の駅の色々な意見もございまして、そういった中で、やはり新鮮な野菜というものが、皆様の手に届くように、検討させて進めたいと思いますので、よろしくお

願いたします。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

皆さん、トマトにつきましては、普及協議会の PR とは別に、農協独自になんですけど GW に道の駅に人が集まるということなので、ちょうどトマトど真ん中のシーズンなので、そこでちょっと販売できないかという事で、今ちょっと協議しているところです。船橋のニンジンとか農協で農産物かかえてる中で、この間、浦安市さんで 5 月・6 月に市川だとトマト、エダマメなどのシーズンにある野菜で農協の方で PR していかうかと、そういった事も検討しているところでございます。他には何かございますか？

○市川市農業士等協会 鈴木会長

はい。先ほどイチゴの話があったんですけど、PR するのは良いんですけど、需要供給であまり宣伝して、供給が間に合わないっていうんでいつもいってないって事があると思うんですよ

ということは、例えば青少年クラブで、これから新たにイチゴに魅力を感じて作るという風にいってもらえれば、増えてくると思うんですけど現状で PR しても、先ほど言いましたけれど 2 軒ですよ。その中で直売もしてるし、道の駅でも量的に全然間に合わないとなってしまうので、その辺も平行していかないただ PR だけしてもどうしようもないんじゃないかなと思うんですけど。まあ、それは何の作物でも同じだと思うんですけど、先ほども果樹部会の方も、梨の生産者も多いし、供給的にもできると思うんですけど。そういった、供給的な問題ですよ。

○中川課長

あの、今お話しございました通り、イチゴ農家は 2 軒しかございません。しかし、その 2 軒とも規模拡大の希望しておりまして、JA さんと色々調整させていただいており、その 2 軒とも倍くらいの広さにしていきたいなという、希望もございましたので、市の方でもできる限り補助おこなうようにと、調整中でございます。

それからあと、1、2 名は、今後イチゴの方も栽培してみたいと相談されている人もいらっしゃいます。そういったかたを踏まえて、せっかく昔、市川イチゴというものがあったので、そういったところの PR を踏まえて、規模拡大等、栽培する農家数の増加、そういったところも少し進めていけたらと、新規希望者もいますのでこちらも積極的に、この方とお話してどうやって栽培などやっていけるか、あるいは今栽培している 2 名の方に、親元就農みたいな形で、教えていただきながら規模を拡大していくなど、そういったところを、今後検討していくことを進めていきたいと思っています。

確かに、イチゴ農家の 1 人の方に、私が土曜日に電話をしたら、もういっぱいです

と言われたこともございます。それほど、需要が確かに高いという事がございますので、あくまでも、供給ができるような形を検討していきます。

○市川市農業協同組合 渡邊部長

他には、何かございますか。大丈夫ですかね。

あの様々、色々な意見が出たものについては、事務局、農協もそうなんですけど、でも次に繋げていきたいと思います。

それでは、特にないようでしたら、今協議会全ては終了いたしました。

ありがとうございました。

○中川課長

はい、ありがとうございました。それでは、ここで事務連絡をさせていただきます。

○石橋主幹

先ほど、担当からもご説明させていただきましたが、資料7の、人・農地プランの案なんですけど個人情報関係から回収させていただきたいと思います。今、担当まわりますので、よろしく願いいたします。

それから次回、この協議会の開催つきましてもなるべくご案内させていただきますので、今後もよろしく願いいたします。

本日は、慎重にご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

○中川課長

資料の回収をさせていただきますので、よろしく願いいたします。